

私家版英和辞典 *

高橋 保夫

Preliminaries to Making an English-Japanese Wordbook of My Own

TAKAHASHI Yasuo

Abstract: A large number of excellent English-Japanese dictionaries are always at hand here in Japan today. Even so, we sometimes have difficulty in finding the information we want from them. We have to read grammar books or ask native speakers. The fruit of doing research should be the ability to gather all our knowledge in one place for easy access next time we need it. I'm planning to make an English-Japanese wordbook of my own. This short note is preliminary to doing so.

0. はじめに

現在、日本では数多くの優れた学習英和辞典が出版されている。それでも、日頃英語を教えていて確認したいことがある時、すぐに学習英和辞典から欲しい情報が得られないことがある。学習英和辞典に厳選しないで無制限に情報を詰め込むことなどできるはずがないので、当然の結果である。したがって、我々はその都度専門的な辞書や文法書を調べたり、母語話者に聞くなどしていくことになる。それを整理しておけば、辞典とまではいかないけれど、自分だけの英和単語帳のようなものが出来上がっていく。次に同じことを調べる時には驚くほど時間の節約になる。英語教師でそういうことをしている人は多いと思うが、その人の興味、関心によってその盛り込まれる情報の内容は人によってかなり違ったものになるのではないだろうか。この小論では私個人の場合はどういう特徴を持ったものになるのか、サンプルのようなものを作ってみる。なお、実際に教科書にでてきた例文をまず提示している。

1. 私家版英和辞典 (サンプル)

E

every

Use subheads every few paragraphs. (Green : 27)

パラグラフ 2、3 個ごとに小見出しをつけなさい。

Every の後ろは、通常単数の名詞句であるが複数の名詞句になることがある。間隔に言及する場合

である (Swan 1995 : 199)。この表現でおもしろいと思うのは、日本語に訳した時に対応する数字がずれることである。たとえば次の例では、「ごみは3日ごとに集められる」のように「ごと」を使うと英語と日本語は同じ数字を使うことができるが、「おき」を使うと「ごみは2日おきに集められる」というように数字を1つ少なく変える必要がある。3日に1回ごみが集められるということは、間に集められない日が2日あるからである。

Garbage is collected every three days. (江川 1991 : 66)

ごみは2日おきに集められます。

さらにおもしろいことは、次の例では「おき」を使っているにもかかわらず、「3時間おきにこの薬を飲みなさい」になり数字を変える必要がない。

Take this medicine every three hours. (荒木 1997 : 58)

この薬は3時間おきに飲みなさい。

この違いはどこからくるのだろうか。day の場合は、1日という単位になったものが連続しているのである。3日に1回ということは、月曜日に集められたら、その月曜日は水曜日までの3つに区切られたグループの中の最初の1つ、次に集められるのは木曜日はその木曜日から始まるグループの中の最初の1つとなる。間に集められない火曜日と水曜日が存在している。それに対して、hour の場合は1時間ずつ区切られたものが並んでいるわけではない。つまり、3時間に1回といえば、例えば、9時に飲んだら、9時からの1時間に飲んだので、10時からの1時間と11時からの1時間を飛ばして12時からの1時間に飲むのではなくて、連続した3時間を置いて12時に飲むのである。「ごと」でも「おき」でも同じことになる。

H

have to

He told Kirk he had come to Japan for a new experience but was tired of having to be an “entertainer” just to get his student to speak and of being treated as a “gaijin”. (Different : 9)

彼はカークに、日本には新しい経験を求めて来たが、生徒に話をさせるために、「エンターテイナー」でいなければならないことにも、「ガイジン」として扱われることにも疲れたんだと打ち明けた。

基本的には must=have to であるが、まったく区別なく使われるというわけではない。must は話し手自身が課した義務を表し、have to は第3者や外的要因によって生じる義務を表すので、分布が異なるといった説明はよく見られる。それに較べて、have to は機能的には助動詞であるが、have は元來動詞なので、must では逆立ちしてもできない芸当ができるという事実に触れられることは少ないように思われる。上の例では、助動詞 have to の have が、後続する be 動詞同様、動名詞になって前置

詞の目的語になっているのである。be「動詞」といっても受動態を作るために助動詞として機能しているのだから、動詞のように振る舞うこと自体注目すべきことかもしれないが、haveは完了を作るときに、同じようなことができるわけで、それとは別に助動詞として機能しているところの一部分だけが動詞のように振る舞っているのが興味深いのである。

さらに次の例では、regretの目的語にsellという動詞そのものではなくて、助動詞have toのhaveが動名詞になって目的語になっている。もし仮にmustという形式しか存在しなかったならば、どうやってみても、この意味をこの形式に詰め込むことは出来なかっただろう。この例のおもしろいところは、動詞が動名詞に変えられregretの目的語になっている時は、すでにその行為をしてしまっている。つまり、「売ってしまっている」のであるが、助動詞部分が動名詞に変えられ目的語になっている時は、その助動詞の表す意味はもう終わったことではないのである。つまり、「売らなければならなかった」のではなく、「売らなければならない」のである。

Fred regrets having to sell his car, but he really needs more money to go to Hawaii.

(Trainer : 49)

フレッドは自分の車を売らなければならないことを残念に思っているが、ハワイに行くためにはもっと多くのお金が必要だ。

学習英和辞典では『旺文社レクシス英和辞典』に次の記述があった。

He is having to think again. (進行形可) (レクシス : 841)

彼は再考しなければならないところだ。

しかし、これもhaveが元来動詞であるからこそ可能であることを強調しておかなければ、単に進行形が可能であるとだけ認識し、上で見たような事実はまだ理解が広がらない読者がいるのではないだろうか。

L

lettuce

We bought a lettuce and a couple of potatoes at the supermarket. (Common Errors : 12)

私達はスーパーマーケットでレタスとジャガイモを少し買った。

上の例は誤りを正す問題で訳はついていないのであるが、この文のどこに問題があるのだろうか。lettuceの可算性ということだろう。ネイティブ・スピーカーにチェックしてもらったところ、正式にはレタス1玉はa head of lettuceというが、a lettuceでも問題はないという。「スーパーマーケット」は何でも売っているので、植物としてのレタス、つまり「レタスの苗」という解釈もあり得るという。おもしろいことに、「種苗店で」という文脈を整えたら、苗しか売ってないので、a lettuceはOKで、

a head of lettuceの方がだめになってしまう。

T

that

From the long list of beers, I picked out Captain, a local nutty beer, that goes very well with the crabs.
(Green : 14)

ビールは、長いリストからカニとよく合う風味豊かな地ビール「キャプテン」を選んだ。

関係詞には、制限的用法と非制限的用法がある。制限的用法は先行詞の意味を限定し、関係詞の前にコンマを置かない。非制限的用法は先行詞に付加的な説明を加え、関係詞の前にコンマを置く。thatには非制限用法がないので、thatの前にはコンマは来ない。しかし上の例のように、制限的用法であっても、直前に同格の名詞句が使われている場合には、コンマが必要になるのである。したがって、thatの前に絶対にコンマが来ないというのは厳密に言えば正しくない。

W

where

Where did rock and roll come from? (Things : 50)

ロックンロールはどこから生まれましたか。

上の疑問文で予想される答えは、From the U.S.A.. などであると思われるが、教科書本文の次の部分に関する問いなので、答えは From jazz and the blues. になる。

Rock and the blues came from jazz and the blues during the 1950s. (Things : 48)

ロックンロールは1950年代にジャズとブルースから生まれた。

英語の where と what、日本語の「どこ」と「何」の対応関係には注意が必要だ。日本語で「スペインの首都はどこですか」というのを英語に訳させると、何も考えずに、Where is the capital city of Spain? と訳してしまう学生がいる。しかし、これではスペインの地図を見せられて首都がどこに位置しているかを聞かれているような状況になってしまう。It's Madrid. という答えが期待されているのだから、What is the capital city of Spain? にする必要があるだろう。

2. まとめ

今後の課題は、発音、語形、語源などに関する情報はほとんどないが、文法、語法、そして日英比較に関する情報が豊富な自分だけのささやかな単語帳を整備していくことである。

*

標題は安井・長谷川（1997）から借用させていただいた。また、Stephen Toskar 先生からは英語について教えていただいた。感謝申し上げます。

出典と略号

Ackert, Patricia・Lee, Linda. 2007. *Things and Matters*. 松柏社. (Things)

Kiggell, Timothy・武藤克彦. 2006. *PRISM Book 6: Green*. マクミラン ランゲージハウス. (Green)

木塚晴夫・Northridge, Roger. 2001. *Common Errors in English Writing Third Edition*. マクミラン
ランゲージハウス. (Common Errors)

Shoules, Joseph・阿部珠理. 1997. *Different Realities*. 南雲堂. (Different)

高山芳樹. 2003. *TOEIC Test: Grammar Trainer*. 南雲堂. (Trainer)

参考文献

荒木一雄(編). 1997. 『新英文法用例辞典』 研究社.

江川泰一郎. 1991. 『英文法解説—改訂三版—』 金子書房.

花本金吾他(編). 2003. 『旺文社レクシス英和辞典』 旺文社.

Swan, Michael. 1995. *Practical English Usage*. Oxford University Press.

安井稔・長谷川ミサ子. 1997. 『私家版英和辞典—よりよき英和辞典のために』 開拓社.